

浅川地区住民自治協議会だより

浅 せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 61 号

発行日 平成30年 3月31日

発行人 小林 芳 信

「浅川地区まちづくり計画」の現況と今後の取り組み

平成27年度に策定された「浅川地区まちづくり計画（28～32年度）」は実践2年目の本年、多くの浅川区民、団体、ボランティアの協力を得て着実に進められています。

以下、今年度の主な取り組みを紹介します。

<浅川ダム・ブランド薬師周辺整備活動>

浅川ダムは29年7月竣工し、全国でも珍しい穴あきダムとして稼働を始めました。浅川地区の“資産”として地域で活用するために周辺に遊歩道を設けるとともに、ブランド薬師、浅川ループラインを含めたトレッキングコースを整備する計画をすすめてきました。

まちづくり推進委員会の専任チーム（竹村美岐雄リーダー）が浅川河川敷の遊歩道予定地の間伐、草刈りをAMT（浅川盛り上げ隊）、多数の区民の協力を得ながら十数回実施し、見違えるように整備されました。その結果、初夏には遊歩道周辺にホタルの群舞が見られることがわかり多くの市民が訪れました。来年のホタル発生期にはより組織的な観察会などを組み立てていきたいと意気込んでいます。また、この活動を着実に継続するためにこの選任チームはまちづくり推進委員会から独立した団体として自立し、ボランティアの参加も含めて更に活動を強化していく計画です。



【みんなで遊歩道を整備しました！】



【整備された遊歩道を歩く】



【ブランド薬師文化財指定のための調査】

ブランド薬師については、市の有形文化財指定を受けるとともに地元区を中心に検討を重ね、「八榎神社保存会」を設立し浅川地区全体の“資産”として、社殿や周辺の整備、保存を行うこととなりました。

浅川ダム展望広場については、長野市からの維持管理の要請を受け、住民自治協議会として「浅川ダム展望広場愛護会」を結成し、毎月1回草刈り・清掃を行いました。また地元の農産物直売を5回実施、それに合わせて県の浅川改良事務所も浅川ダム見学会を実施しました。来年度には浅川改良事務所内に「浅川ダム周辺利活用懇談会」を設け、一層の連携を深める予定です。



【浅川ダム展望広場での直売】

10月には「浅川地区みどりの移動市長室」を実施、加藤市長始め市の幹部の皆さんとブランド薬師～遊歩道を視察した後、懇談を行い、活動に対する市の理解と支援を要請しました。



【市長に「まちづくり」活動の状況を報告・懇談（みどりの移動市長室）】

<希少動植物の蝶・ゴマシジミの保護育成活動>

浅川地区（長野市霊園）に長野県指定希少野生動植物の蝶・ゴマシジミの生息が確認され、その保護の要請を受けて専任チーム（相澤晴雄リーダー）を立ち上げ多岐にわたる活動を行いました。

まず、ゴマシジミの生態に対する地域住民の意識・関心の醸成と啓発促進のため、北部中学校美術部の生徒さんに紙芝居の原画作成を依頼、紙芝居「がんばれ！！ゴマシジミ」を作成しました。この紙芝居は浅川小学校を始め市内全小学校に配布するため長野市教育委員会に寄贈しました。紙芝居の上演は「にこにこ一座（座長：知久荘治さん）」の協力を得て、様々な施設、機関で上演されています。

また生息地の長野市霊園周辺の保護監視パトロールを行い、長野県の元気づくり支援金の助成を受けて、捕獲禁止の看板や採取防止の杭打ちを行いました。

さらにゴマシジミが産卵するための植物ワレモコウを浅川小学校の児童の皆さんの協力を得て育苗、植栽を行っていく予定です。



【野生希少種蝶・ゴマシジミ】



【紙芝居「がんばれ!!ゴマシジミ」】



【ゴマシジミ保護監視パトロール（長野市霊園）】

<30年度に向けて>

「まちづくり計画」推進3年目の30年度は、浅川ダム天端に鯉のぼりを掲げる活動やループ橋のり面・河川敷への花木等の植付け、同じく野生希少種蝶のアサギマダラの保護にも取り組もうとしています。またこれまで行ってきた活動をさらに深化させるとともに、継続的な活動を担う体制の強化を行っていかねばなりません。そのためには、住民自治協議会を構成する区長会、諸団体や関係役員だけでなく、より多くの浅川地区の皆さんの協力が不可欠です。

そのために「浅川地区人材バンク・ボランティア」を募集し、登録をお願いしています。「みんなで創る元気な浅川」を目指して「自分たちの地域は自分たちで作る」を合言葉に一層のご支援ご協力をお願いします。
(浅川地区まちづくり計画推進委員会)



【浅川ダム天端に鯉のぼり掲揚】

平成30年度「ながのまちづくり活動支援事業補助金」採択される！ ～浅川ダム周辺の継続整備に向けた活動に～

浅川地区住民自治協議会では「まちづくり計画」3年目の推進事業として浅川ダム周辺の遊歩道整備と案内板の設置、ウォーキングマップの作成、浅川河川敷のホタル群生地整備と見学会の実施、花桃の植栽等を行うことを目的に提案申請をしました。予備審査を経て、3月1日に開催された「長野まちづくり活動審査委員会」で30年度補助金事業として採択されました。審査委員会では14住民自治協議会及び19団体からの提案が審査され、22事業が採択されました。

「浅川地区の公共施設について考える ～市民ワークショップ(第2回)～」開催される



【発表に聴き入る樋口副市長ほか】

2月24日(土)第2回目の「浅川地区の公共施設を考える～市民ワークショップ～」が行われました。第1回(11月11日開催)と同じメンバー40名余(各団体、施設利用者から選任)が6グループに分かれ、前回の検討を踏まえて、「浅川地区の公共施設の将来像について考える」をテーマに熱心な討論が行われました。

浅川の13の公共施設を具体的に頭に浮かべながら、集約化・複合化、再配置、新たな利活用方法、将来まで残す公共施設、そのためのコスト等の観点から、「施設の将来像・再配置のかたち・自分たちでできること・その効果課題」を検討、グループごとに発表をしました。

各グループの発表内容は以下の通りです。

	【施設の考え方】	【再配置のかたちと効果】	【実現のための課題等】
Aグループ	<p>*山間部と平地の交流 *多世代交流のため有効利用</p> 	<p>①利用率の高い公民館分館と西条集会所は改修・更新する ②北郷体育館は山間部の拠点として世代間交流等に有効利用する ③公民館分館～利用率高い →改修して利活用</p>	<p>①北郷体育館の利用方法の提案 ②浅川のよいところを見つけ、地区外から来てもらえるようにする</p>
Bグループ	<p>交流が生まれる浅川にしよう!</p> 	<p>①小学校、児童センター、支所、公民館等を1カ所に統合、児童センターは駐車場 →運営費削減 ②駐車場と歩道橋で結ぶ →住民同士の交流の場の組成 ③スパイラルの広大な土地の有効活用</p>	<p>①PRアイデアの協力 ②マレットゴルフ場の草刈りやスパイラルでの山菜採り活動 ③費用、交通手段の確保 ④浅川の周辺地域の公共施設の活用</p>
Cグループ	<p>若者が住みつきたくなる浅川地区を目指す!</p> 	<p>①児童センターと子どもプラザの統合 →空き教室の活用 ②公民館分館と児童センター跡地の複合化 ③西条集会所と西条公民館の統合・拡大 ④北郷体育館の利用方法を工夫する →利用増で人的交流促進、宿泊交流施設として</p>	<p>①浅川支所や公民館で行われる会議を北郷体育館で行うなど利用の均等化を図る ②宿泊施設としての利用工夫 ③子育て環境の整備</p>
Dグループ	<p>いらない施設はない! →有効活用</p> 	<p>①施設の利用用途を広げる →北郷体育館を中心とした山間地の活性化 →防災拠点としての整備 →小中学校での世代間交流 →農村留学歴史文化の学び、地区運動会の開催等</p>	<p>①交流のための受入体制づくり ②公民館の利用規制の緩和 ③公共施設の近くにベンチを設置し、「まちの縁側」のように人が交流できるようにする</p>
Eグループ	<p>平坦地と山間地の共生</p> 	<p>①北郷体育館を浅川体育館に集約 →浅川体育館、小中学校体育館の利用検討 ②飯綱高原管理棟は廃止 ③児童センターは子どもプラザに統合 →空き教室の利用</p>	<p>①各地区間交流を積極的に推進する ②北郷体育館の跡地利用 ③山間地⇄平坦地の交通手段 ④施設利用の有料化等の検討</p>
Fグループ	<p>浅川笠じぞうビジョン(浅川地域内の人や物の循環の活発化)</p> 	<p><2つの拠点づくり> *山:スパイラルに集約、浅川ダムとの連携 *平:小学校周辺に集約 ・北郷体育館をスパイラルに集約 ・児童センターと子どもプラザの統合 →ボランティアセンターとして利用 ・公民館分館を活用→北部図書館に格上げ</p>	<p>①人づくり→リーダーが重要 ②ボランティアの募集 ③平地での駐車場の確保 ④地域循環→山で農産物を集めて平地に、平地で必要なものを買って山へ→高齢者のための買物代行等の検討</p>

各グループの発表について、アドバイザーを務めた信州大学工学部寺内美紀子准教授から「みなさんの山間地域への想いの強さを感じた。再配置を考えると、意見の対立を克服し“どうやったら利活用できるか”発想の転換が必要で、そこから次代の浅川を創っていくタネが生まれる。」と講評がありました。最後に樋口副市長が「今回のワークショップはこれから公共施設を考える上でのキックオフと考えている。充実した話し合いをしていただいたことに感謝する。」と参加者の労をねぎらって2回にわたるワークショップを終えました。



【会場風景】



【信大寺内准教授の講評】



【参加者のみなさんご苦労様でした！】

「ありがとうスパイラル」～スパイラル最終滑走行われる～

2月5日（月）本年度で冬の製氷を中止するボブスレー・リュージュパーク「スパイラル」は22年に亘る競技施設として閉幕を飾りました。

「ありがとうスパイラル」のメッセージを車体に貼り、青色にライトアップした4人乗りボブスレーが最終滑走を終えると、見守る競技・管理運営関係者、地元ボランティア「スパイラル友の会」のメンバーから歓声が上がりました。これまで夏の草刈りや子供たちの体験学習の支援協力を携わってきた「浅川スパイラル友の会」の拝野忠昭会長は「最終滑走は寂しいが、スパイラルを大事にもらえてありがたい。」と感慨深げに語りました。

スポーツ庁は、2月27日、「スパイラル」施設をナショナルトレーニングセンター（NTC）に再指定し、2018年以降、夏場の競技強化拠点施設として使用することになりました。また「浅川スパイラル友の会」は今年度末で解散を決定、今後は市の対応を踏まえて、住民自治協議会として利活用方法について検討することになっています。



【友の会の役員のみなさんと22年間の感謝の花束を受ける拝野忠昭会長】



【「ありがとうスパイラル」～最終滑走したボブスレーを前に！～】

今年も「飯綱炭工房」で炭焼きを行っています！

～「21世紀の生活を考える会」～

1月9日今年の仕事始めとして炭焼き窯に火を入れ空焚き・保温を行い、10日には1回目の原木の詰め込みを行い今年の炭焼きが始まりました。今年は11月頃から「あさかわの里山と森を守る会」の支援も受けて会員が精力的に原木の切り出しを行い準備をしてきました。原木は主に檜（なら）と雑木です。火を入れてから2日後、12日に最初の窯出し、16日には火入れの神事が行われ今年の作業の安全と良い炭ができるよう祈願をしました。

「21世紀の生活を考える会」では、今冬概ね3日程度の間隔で20数回の詰め込み・窯出しを行う計画です。できた炭は市内の鰻屋さんや希望する方に販売されます。

20日に3回目の窯出し・詰め込みが行われました。当日は松木正夫さん、竹元敏さん、斎藤可雄さんの3人が見事に連携し、精力的に作業が進められました。真っ赤に焼けた炭には土をかけ一晩冷やさされ、炭が出来上がります。窯出しの後は原木の詰め込みです。1.2m、直径10cm程の原木を窯の奥から1本1本整然と立てて並べるのは大変な作業ですが、ベテランの松木さんは手際よく詰めています。記者も1本手伝ってみました、大変なことを実感しました。作業の様子を写真でご覧ください。



【窯出しをした松木さん、竹元さん、斎藤さん】

1月16日の
火入れ式(神事)



【飯綱炭工房】



【火入れ式で安全祈願】

1月20日の
窯出しの様子



【先ず窯の“フタ”を開けます】



【窯の中は1,200度の高温！】



【窯から炭を掻き出します】



【きれいに焼きあがった“白炭”】



【炭に土をかけて一昼夜冷やします】



【その後窯に原木を詰め込みます】

お知らせ

平成30年度 浅川地区住民自治協議会総会を傍聴しましょう！

～総会終了後、区民交流懇親会を開催～大勢のみなさんご参加を！～

日時 平成30年4月14日(土) 午後2時～4時
場所 浅川公民館2階 大会議室

☆総会を傍聴希望の方は、当日、直接会場にお越しください。

☆交流懇親会(会費1,000円)に参加ご希望の方は、4月4日(水)までに、30年度の各区の区長さんにお申し出ください。

なお、会費は当日受付にて申し受けいたします。

*ご不明の点は、住民自治協議会事務局(TEL:244-5165)にお問合せ下さい。

※総会終了後、
区民交流懇親会
を開催

共に生きる



ふれあい会食会・にこにこ健康教室に初参加

屋敷田 中嶋 輝行

初めての参加でした。「あ～参加して良かったな～」と帰って思いました。住自協・社協・日赤奉仕団をはじめ沢山のグループ・地域の方々総出で嬉しい思いでした。浅川地区大勢の参加の方々にもビックリ!!他にも入院中や寝たきりの方々もおられるのでしょね～、本当に参加できて良かったと感じました。

健康チェックでは血圧OK、15項目の質問全部満点でした。また手洗いの大切さ・うがい・筋トレ等も参考になりました。私は鼻呼吸の事を、近くにおられたので看護師さんに聞いてしまいました。

手作りのお昼ごはんおいしく頂き、地域の顔見知りの方々との会話もあり本当に良い集まりでしたね～。この浅川地区は常に長野市の模範となれるような活動を続けていきたいですね～。余談ですが私は毎朝の神棚・仏壇への水替えの時、家の中をつま先歩きをしています。これも筋トレかなと自己流で実行しています。

私の好きな歌の時間もあり、明日からの生きる元気をもらえた一日でした。



「博愛の園」による健康相談

2月23日（金）浅川公民館にてひとり暮らしの方を対象に開催



今年も歌で楽しませてくれました！クローバーの中村さんと木村さん♪

日赤講師による「にこにこ健康教室」

寝たきりにならないよう、椅子に座ってできる筋トレや病気予防の基本である正しい手洗いとうがいの仕方などを教えていただきました。



放課後等の子どもの居場所

長野市で行っている「放課後子ども総合プラン」は、就労等で保護者が昼間家庭にいない児童などに、放課後等の安全で安心な居場所を提供するために実施しているものです。

- ・30年度利用料のご負担をお願いすること
- ・「放課後子ども総合プラン事業ガイドライン」の策定等を行い、更に事業の充実を図っていきます。

「放課後子ども総合プラン運営委員会」よりお知らせ



地域たすけあい事業

家事援助

高齢の方、日常生活でお困りの方のお手伝いをいたします。



住居等の掃除・洗濯 生活必需品の買い物 草取り・話相手など

浅川地区家事援助 やまびこ会

※1時間 500円

福祉移送

介護認定又は障害者手帳をお持ちで、歩行困難な方の通院・リハビリの送迎。



浅川地区福祉自動車 ふくちゃん号

※片道1回 600円

詳しくは 地域たすけあい事業コーディネーターまで
☎263-3365 (浅川支所内 担当:野口)



5月からはじまります! 子育て・子育て支援「アップルキッズ」

『アップルキッズ』は浅川社会福祉協議会が開催している未就園児とその家族を対象とした子育て・子育て支援事業です。毎月第3木曜日には、講師の先生をお呼びし、工作や体操等の活動をするほか、浅川地区のボランティアの皆さんの温かいお気持ちとご協力のもとに絵本の読み聞かせや紙芝居、手作りおやつも提供しています。毎回、おもちゃで自由に遊べる時間もあり、みんなで一緒に遊んだり、おしゃべりして楽しく過ごしています。

お問い合わせ 浅川社会福祉協議会 (262-1362) まで
(詳しくは4月1日の回覧をご覧ください!)



その他の主な事業・活動

報告 (2月~3月)

☆ 冬季スポーツ大会 (浅川地区公民館連合会)

..... 2月11日 (日)

夜半には雨が降り雪の少ない暖かな一日、冬季スポーツ大会が開催され熱戦がくり広げられました。

ソフトバレーには19チーム、綱引きには10チームが参加。選手・応援団を含め300名余の熱気と歓声が体育館に響きわたりました。(結果は以下の通り)

<ソフトバレー> Aブロック 優勝：神楽橋A 準優勝：北郷B 3位：神楽橋B
 Bブロック 優勝：浅川団地B 準優勝：浅川西平A 3位：屋敷田A
 <綱引き> 優勝：北郷 準優勝：浅川押田 3位：神楽橋



広報委員から

～1年間を振り返って～

雪の少ない冬でした。毎朝外を見れば雪かきの心配をしていましたが、この冬は本当に楽でした。4月から広報委員として「せせらぎ」の発行に関わり、以前「公民館報」があった頃、記事の依頼を受けて、祖母の作ってくれた“こねつけ”のことを書いたなあと思い出しました。小川事務局長をはじめ委員の皆様のお借りして、1年が過ぎようとしています。編集会議では地区内の事、住民自治協議会、各団体の事など色々知ることが出来てよい勉強になりました。ありがとうございました。

総務環境部会 宮澤さと子
 (浅川地区白バラ会会長)

戸惑いと不安の中でスタートした委員会活動でしたが、人生経験豊富で浅川を知り尽くした皆様に色々教えていただき、1年間楽しく充実した時間を過ごす事ができました。事務局長の小川さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

広報誌「せせらぎ」を通して、改めて浅川の豊かな自然環境の大切さ、人と人が繋がりが寄り添って支えあう浅川を身近に感じる事ができました。1年間ありがとうございました。

福祉健康部会 浅井延子
 (長野市赤十字奉仕団浅川分団分団長)

「せせらぎ」に携わって1年、小さな記事にも四苦八苦でした。

先日、平昌オリンピックで金メダルの小平選手と、銀メダルでライバルの韓国イ・サンファ選手が抱き合っただけ健闘を讃えるシーンが感動を呼び話題となりました。しかし日本が金メダルをとった女子パシュートで、韓国チームは一人だけ仲間はずれにされた格好となって話題になりました。この二つのシーンを「せせらぎ」に載せるとしたらライター小川(事務局長)はどんな紙面にするのでしょうか……1年間お世話になりました。

教育文化部会 内山伸実
 (地区公民館連合会広報部長)

何もわからずに広報委員をお受けしましたので、小川事務局長や他の委員の方にご迷惑をおかけしてしまいましたが、皆さまにとっても優しくしていただいたので助かりました。

「せせらぎ」の編集に携わることで浅川地区の情報やさまざまな活動がわかるようになり、とても明るく元気な地区なんだなと思いました。

これからは届くのを楽しみに待ちたいと思います。一年間ありがとうございました。

次世代育成部会 毛利正利
 (育成会会長)

今回浅川地区での市民ワークショップがあり、今後の浅川地区施設の在り方を考える会議に出席しました。

そこでは過疎化が進む中山間地域と、平場地域が施設等を活用しての交流を深めるなど、今後の浅川地区をどのように活性化させるか各グループで多くの意見が出されました。

今後この「せせらぎ」が浅川地区の交流また、中山間地域の現状を知る一つになればと思います。今年一年、広報委員の方々はじめ事務局の小川さんには大変お世話になりました。また、寄稿し紙面を盛り上げて頂いた方々に感謝いたします。

安全防災部会・広報委員長 永井宏一
 (長野市消防団浅川分団分団長)

職責によって選任された1年間があっという間に過ぎ去りました。この間事務局長をはじめ委員長・委員の皆さんには大変お世話になりました。「せせらぎ」は年6回の発行でしたが、その都度浅川地域内の細部にわたり情報満載で個人として大変勉強になりました。今後、更に多くの皆様に愛読される情報誌であることを祈ります。

産業振興部会 斎藤義信
 (21世紀の生活を考える会会長)

広報委員長：永井宏一 広報委員：宮澤さと子、浅井延子、内山伸実、毛利正利、斎藤義信